



岩手産業保健総合支援 センターだより



令和8年7月1日発行 No.66

梅雨明けが待ち遠しい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。7月は一年の折り返し地点。気持ちを新たに、より良い情報をお届けできるよう努めてまいります。7月～9月の研修会をご案内いたします。

★岩手産保センターからお知らせです★



Instagramを開設しました!【公式】岩手産業保健総合支援センター
研修会情報を中心に、さまざまな情報を発信していきます。
ぜひフォローしていただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします!

いわて産保



■『会場』での研修会ご参加について■

当面の間、以下の事項にご留意ください。また、今後の状況によっては、研修会に参加される皆様の健康・安全を考慮し、延期又は中止とする場合がありますので、開催の有無につきましてはホームページ等でご確認ください。

1. 受講票は、受講当日の受付時に確認いたしますので、ご持参願います。
(スマートフォン・タブレット画面表示可)
2. 研修会場内ではマスクの着用は任意としますが、研修会の開催形態によっては、マスク着用をお願いする場合がございます。
3. ご参加される際は、体温調整しやすい服装でお越しください。
(各会場につきまして、空調設備が十分に機能しない場合があります。)

※当日は体調確認の上、ご参加ください。



1. 研修会の開催予定

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援に関する研修会を“無料”で開催しております。ぜひ、ご参加ください。研修会のお申込みは、ホームページ(<https://www.iwates.johas.go.jp/#training-app-form>)の研修申込フォームからどうぞ。お問い合わせは、当センター 電話 019-621-5366 まで。

※注※ 研修については、実施内容、講師等について、予告することなく変更する場合があります。当センターのホームページでご確認ください。



■ 7 月開催

日時・場所	研修テーマ・実施内容	定員
7 月 3 日(金) 13:30～16：00 盛岡 秋吉アイーナ8階 802会議室	テーマ：1 化学物質の自律的管理の基本 2 .CREAT-SIMPLEで学ぶリスクアセスメント（基本編） ※各自、最新のCREAT-SIMPLEファイルをダウンロードしたパソコンを持参 講 師：1. 産業保健相談員 小野田 敏行 [岩手大学教授 保健管理センター長、産業医] 2. 産業保健相談員 小山 正範 [第1種作業環境測定士、日測協認定オキュペイショナルハイジニスト]	会場 のみ 20 名
7 月 6 日(月) 13:30～16:30 盛岡 秋吉アイーナ8階 802会議室	テーマ：セルフケア研修 1.セルフケアの実践に必要なこと、社内での実践法 2.ストレスのマネジメントとコントロール、レジリアンス ※研修方法につきましては、詳細が決まり次第、ホームページ・メルマガにてご案内いたします。 講 師：産業保健相談員 今松 明子 [精神保健福祉士・今松メンタルヘルスケア事務所所長]	会場 20 名 Web 20 名
7 月 9 日(木) 13:30～16:00 盛岡 秋吉アイーナ8階 802会議室	テーマ：ストレスチェック 1.高ストレス者・不調者への面談と対応 ストレスチェックの高ストレス者の面談、メンタル不調者への対応 2.ストレスチェック制度の導入 労働者数50人未満の事業場におけるストレスチェック制度の導入について 講 師：1. 産業保健相談員 茂木 隆 [(公財)岩手県予防医学協会 産業保健総合支援部長、認定産業医、医学博士] 2. 産業保健相談員 山田 恵子 [看護師、産業カウンセラー]	会場 20 名 Web 20 名
7 月 1 4 日(火) 13:30～16:00 盛岡 秋吉アイーナ8階 802会議室	テーマ：【産業保健と法】 ハラスメントと法 1.ハラスメント、特にパワーハラスメントに関する法律論と実践的な予防・解決策 2.主要な裁判例を素材とした実務上の留意点 講 師：日本産業保健法学会 内藤法律事務所 内藤 喜仁 弁護士	会場 20 名 Web 20 名
7 月 2 2 日(水) 13:30～16：00 盛岡 秋吉アイーナ8階 810研修室	テーマ：メンタルヘルス不調者の職場復帰支援について学ぶ その 3 1.復帰後のフォローアップ 2.職場復帰支援のまとめ 講 師：産業保健相談員 藤井 由里 [精神保健福祉士・臨床心理士]	会場 20 名 Web 20 名

■ 8月開催

日時・場所	研修テーマ・実施内容	定員
8月3日(月) 13:30～16：30 盛岡 材料アイーナ5階 501会議室	テーマ：メンタルヘルスの基礎知識 ストレス、メンタルヘルス不調、不調の予防と早期発見 ※研修方法につきましては、詳細が決まり次第、ホームページ・メルマガにてご案内いたします。 講師：産業保健相談員 今松 明子 〔精神保健福祉士・今松メンタルヘルスケア事務所所長〕	会場 20名 Web 20名
8月6日(木) 13:30～16:00 盛岡 材料アイーナ7階 703会議室	テーマ：1.高年齢労働者の労災防止対策 2.理学療法士による「身体機能セルフチェック」計測実習 1.高年齢労働者の労災防止対策 高年齢者の労働災害防止のための指針に基づいた取り組み 2.理学療法士による「身体機能セルフチェック」計測実習 「転倒等リスク評価セルフチェック」による身体機能計測の実践演習。 身体機能の改善に繋がる運動指導 講師：1.岩手産業保健総合支援センター 労働衛生専門職 関向 和明 〔労働衛生コンサルタント〕 講師：2.産業保健相談員 澤口 裕樹 〔（一社）岩手県理学療法士会 認定理学療法士〕	会場 20名 Web 20名
8月28日(金) 13:30～16:00 盛岡 材料アイーナ8階 802会議室	テーマ：1.精神保健福祉センターにおける支援の実例、 岩手県の自殺の現状と予防対策 2.ストレスチェック結果の活用と職場環境改善事例 講師：1. 岩手県精神保健福祉センター 主査保健師 高橋 愛 2. 工藤 龍洋 〔労働衛生コンサルタント〕	会場 20名 Web 20名
認定産業医限定 8月29日(土) 14：00～16:00 盛岡 マリオス18階 188会議室	産業医研修 ※岩手県内在住、または、県内就労の方限定 ※医師会会員情報システム(MAMIS)の登録完了の方 テーマ：「メンタルヘルス対策」 ～高ストレス者、長時間労働者への面接指導と相談対応～ 1.【専門】ストレスチェックの高ストレス者、長時間労働者への 面接指導のポイント 講師：岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 茂木 隆 〔（公財）岩手県予防医学協会 産業保健総合支援部長、認定産業医〕 2.【実地】高ストレス者への面接指導の実際 ※ロールプレイによる実務的な相談対応研修 講師：岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 田鎖愛理 〔学校法人岩手医科大学医学部 総合診療医学講座、講師〕 日本医師会認定産業医研修 （生涯：専門 1単位 / 生涯：実地 1単位）	会場 40名

■ 9 月開催

日時・場所	研修テーマ・実施内容	定員
9 月 2 日(水) 13:30～16：00 盛岡 秋葉山アイーナ 8 階 802会議室	テーマ： 1.セルフケアとラインケア 2.メンタル不調者の職場復帰 1.セルフケアとラインケア セルフケアとラインケアとは。事業場で実践するために必要なこと 2.メンタル不調者の職場復帰 復職可能の診断書が提出された後に必要な対応 講 師： 1.産業保健相談員 乙茂内 美以子 [（公財）岩手県予防医学協会 健康推進部健康支援課 臨床心理士・公認心理師] 2.産業保健相談員 上田 均 [もりおか心のクリニック院長 認定産業医]	会場 20 名 Web 20 名
9 月 8 日(火) 13:30～16:00 盛岡 秋葉山アイーナ 8 階 802会議室	テーマ：神経発達症（発達障害） 1.神経発達症（発達障害）かもしれない労働者への声がけ・対応 発達障害の概要、事例の特性や問題に応じた対応 2.神経発達症（発達障害）の理解と職場での対応 講 師： 1.産業保健相談員 滝本 成美 [公認心理師] 2.産業保健相談員 青木 慎一郎 [岩手県立大学名誉教授、認定産業医、労働衛生コンサルタント]	会場 20 名 Web 20 名
9 月 1 4 日(月) 13:30～16:00 盛岡 秋葉山アイーナ8階 802会議室	テーマ： 1.女性特有の健康課題への取組み 2.女性労働者のためのメンタル支援の実践法 1.女性特有の健康課題への取組み PMS・更年期症状への理解と職場での実践的支援 2.女性労働者のためのメンタル支援の実践法 働く女性のストレス、男女別のメンタル不調の違い、職場でできるセルフケア 講 師： 1.岩手医科大学 産婦人科 助教 川村花恵 先生 2.岩手医科大学 神経精神科学講座 准教授 福本健太郎 先生	会場 20 名 Web 20 名
9 月 2 8 日(月) 13:30～16：30 盛岡 秋葉山アイーナ8階 802会議室	テーマ：職場でメンタルヘルス不調者が発生した場合の対応 その 1 上司、人事労務担当、衛生管理者としての不調者への接し方、コミュニケーション。 上司、管理者自身のメンタルヘルスケア ※研修方法につきましては、詳細が決まり次第、ホームページ・メルマガにてご案内いたします。 講 師：産業保健相談員 今松 明子 [精神保健福祉士・今松メンタルヘルスケア事務所所長]	会場 20 名 Web 20 名



配信による研修会

1.Web配信について

- ・ Zoomミーティングを使用し、配信いたします。
- ・ 参加者の定員が決まっておりますので、定員になり次第、受付終了とさせていただきます。
- ・ 受講には、インターネットに接続できるパソコン・スマートフォン等、マイク・カメラ・スピーカー（パソコン等に内蔵されているもので可）、メールアドレスが必要になります。
- ・ 受講方法等の詳細については、受講申込受付後、受講者あてメールにてお知らせします。よくご覧になっていただきまして、ご参加願います。

2.注意事項

- ・ **配信した音声・映像の録音・録画は、禁止とします。これらの行為は著作権侵害に当たり得るとされています。**
- ・ インターネット通信にかかる費用は、受講者負担となります。
- ・ **研修資料は用紙での提供になり、電子データは配布いたしません。**
（※講師資料の著作権等により、二次使用を防ぐため）
郵送をするため、研修日にお手元に届かない場合がございます。
- ・ Web配信に必要なWebブラウザ、アプリ以外のソフトウェア（ウイルス対策ソフトを除く）の起動（操作）はお勧めしません。Webカメラのフリーズやパソコンのフリーズの原因になります。



📷 研修会の様子 📷



2. ばんぽセンター ご利用案内

◆「産業保健関係者に対する専門的研修」を実施しております。

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」対象に産業保健に関する様々なテーマの研修を“無料”で実施しています。また、【Zoom】を使用したWeb配信も行っております。研修スケジュールにつきましては、当センターホームページ等でご確認ください。

◆「共催研修」のお申込みを受け付けております。

同業種、地域、関連事業場など複数事業場からのお申込みにより、講師を派遣します。

詳しくは、当センターまでお問い合わせください。



◆「個別訪問支援」をお受けしております。

(※無料です。謝金・交通費等は一切いただきません。)

メンタルヘルス対策や化学物質対策等の職場環境改善等について専門員が皆様の事業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法等をアドバイスしております。

お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

◆「治療と仕事の両立支援」をご利用ください。

「がん」などの長期治療が必要な労働者が、就労を継続するために必要なアドバイス等について、事業場・労働者に対する専門的相談や個別訪問支援を行います。出張相談窓口も開設しております。

お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。



ご利用・ご相談は
すべて無料!

独立行政法人労働者健康安全機構

johas

岩手産業保健総合支援センター

電話 019-621-5366 / FAX 019-621-5367

URL: <https://www.iwates.johas.go.jp>

E-mail: iwate@iwates.johas.go.jp

■ 「地域産業保健センター」 をご利用ください。



地域産業保健センターでは、労働者数50人未満の産業医の選任義務のない小規模事業場の事業者やそこで働く人を対象として、健康診断の結果についての医師からの意見聴取、長時間労働者やストレスチェックに係る高ストレス者に対する面接指導、個別訪問による産業保健指導の実施、労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談等の産業保健サービスを“無料”で行っています。

お問い合わせは、お近くの各地域産業保健センターまでお願いいたします。



【地域産業保健センター 一覧】

センター名	所在地	電話・FAX番号	管轄地域
盛岡地域産業保健センター	盛岡市愛宕町18-6 盛岡市医師会内	TEL 019-654-2164 FAX 019-651-9822	盛岡市 滝沢市 八幡平市 岩手町 葛巻町 雫石町 矢巾町 紫波町
宮古地域産業保健センター	宮古市西町一丁目6-2 宮古医師会館内	TEL 0193-62-5880 FAX 0193-62-1109	宮古市 山田町 岩泉町 田野畑村
釜石・遠野地域産業保健センター (釜石窓口)	釜石市中妻町3-6-10 釜石医師会内	TEL 0193-23-9966 FAX 0193-21-1215	釜石市 大槌町
釜石・遠野地域産業保健センター (遠野窓口)	遠野市新穀町1-11 遠野市医師会内	TEL 0198-62-9182 FAX 0198-62-9184	遠野市 (宮守町除く)
花巻地域産業保健センター	花巻市花城町3-3 花巻市医師会内	TEL 0198-22-3881 FAX 0198-22-2016	花巻市 北上市 西和賀町 金ヶ崎町 遠野市のうち宮守町 奥州市のうち 水沢 江刺 胆沢
一関地域産業保健センター	一関市大手町3-40 一関市医師会内	TEL 0191-23-5110 FAX 0191-23-9955	一関市 平泉町 奥州市のうち衣川 前沢
気仙地域産業保健センター	大船渡市盛町字内ノ目6-1 気仙医師会館内	TEL 0192-27-6700 FAX 0192-26-2429	大船渡市 住田町 陸前高田市
二戸・久慈地域産業保健センター (二戸窓口)	二戸市福岡字八幡下11-1 二戸医師会内	TEL 0195-23-4466 FAX 0195-23-6685	二戸市 一戸町 軽米町 九戸村
二戸・久慈地域産業保健センター (久慈窓口)	久慈市中町1-67 久慈医師会内	TEL 0194-53-0114 FAX 0194-53-0541	久慈市 洋野町 野田村 普代村

バイアス

産業保健相談員 小野田 敏行（産業医学）
岩手大学 教授 保健管理センター長 産業医

疫学研究では様々な病気について、どのような生活習慣や特徴を持った人がなりやすいのかを調べますが、この時に問題になるのがバイアス(英:bias)です。バイアスは「偏り」、強く言うと「偏見」で、これの影響で間違った結論となってしまうことがあります。

ある病気の患者さんの特徴を調べ、そうではない人たちと比較した時に患者さんで目立つ特徴があれば、それがその病気になりやすい要因だろう、とする患者対照研究の場合を考えましょう。過去の生活習慣はアンケートなどで調べますが、患者さん群では、いかにも健康に悪そうな生活習慣については、そのせいもあって病気になったのだろうなと思って多く答えやすくなりますし、対照の群では健康なのであまり気に留めず、より少なく答えやすくなります。そうすると、その生活習慣は患者さん群で多く、対照の群で少なくなることから、実はその病気と全く関係なくても犯人扱いとなります。聞き出す側も、患者さんに聞く時、その習慣があると答えたら、そうでしょうと深く頷き、無いと答えたら、え、本当ですか？などと聞き直したり、逆に対照の人には全く反対のことをすると、さらにより強い冤罪の完成です。

私たちの日常生活でのバイアスの例を一つ挙げます。最近、〇〇が多いね、という話をしたり聞いたりすることがあるかと思います。はっきりとした増加でなくとも一度気になってしまうと、次に同じことがあった時、ほら、やっぱり〇〇が多いよ、と強化されてしまいます。これは認知バイアスの一種ですが、逆に、はっきりと増えていても、いやいや、いつも通りだよ、と決めつけてしまうという認知バイアス(正常性バイアス)もあります。いつもと違うこと、特に危険が迫っていても「今まで大丈夫だったのだから今回も大丈夫」と考えてしまうことで、適切な対処の遅れに繋がります。

統計の有意差検定で言うと、前者は明らかな差は無いのに差があるという結論に飛びついてしまう第一種の過誤(α エラー)、後者は明らかな差があるのに差があるという結論をいつまでも出さない第二種の過誤(β エラー)と説明されます。統計の入門書では α はあわて者、 β はぼんやり者として覚えなさいとありますが、さて、あなたにはどちらの傾向がありますか？

